

図り、増収策の柱として入院患者数を安定的に増やしていくことができるのであれば、平成21年度においては相当程度、経営状況は改善すると考えております。

●松尾教習所について

Q 松尾教習所の現状について。

A 市長 教習所を取り巻く環境の変化が近年顕著になってきました。少子高齢化による新規の免許取得人口の減少により、現状は少し赤字が出てきたところかと思えます。

●特別プロジェクトについて
Q 特別プロジェクトの目的について。

A 総務部長 現在、地域振興に係る4つの重点課題プロジェクトとして作業を進めています。第1回の会議では、成東駅周辺整備事業を都市計画課、日向の森の土地利用は企画政策課、オライはすぬま周辺の観光振興は商工観光課、松尾横芝インター周辺における空港関連企業誘致は企画政策課で担当することになりました。第2回の会議は10月20日に開催し、成東駅周

辺整備事業は、都市計画マスタープランの策定とあわせて検討していくことになっております。オライはすぬま周辺の観光振興は、道の駅オライはすぬまと連沼海浜公園を核として、観光振興について魅力ある観光振興の提供、PRの検討など、地域との連携による地域振興策を検討し、観光客の増加を図る考えで進めているところです。松尾横芝インター周辺における空港関連企業誘致は、N A A、空港関連企業並びに成田空港都市づくり協議会等でのよう

に取り組んでいくかを検討し、積極的な活動を行っているところ

です。日向の森の土地利用は、自然環境との調和に留意し、工業や流通業などの拠点集積や、定住環境の整備、充実を目指しているところで

す。また、バイオマス構想によるバイオマス関連企業の誘致を積極的に行っているところで

●道の駅周辺の今後の計画は。

A 経済環境部長 連沼地域の観光振興が山武市全体の観光振興につながるものと

考え、今後、連沼地域の観光関係者との意見交換の中で、観光振興策を取りまとめたいと考えております。

●観光立県の推進について
Q 観光立県の推進について。

A 市長 すべての観光資源になり得るといふ考えからすれば、観光というものがひとつの切り口として地域の元気を生み出すことができるということが千葉県の方向性だといふふうに思います。山武市、特に即戦力として連沼の海浜公園そして道の駅オライはすぬまは、山武市の観光という面では欠かせない部分でございます。

●飯岡一宮線の取り組み姿勢について。

Q 飯岡一宮線の取り組み姿勢について。

A 市長 飯岡一宮線としての工区、作田川から栗山川までの道路改良事業の11.5 kmの間で、片貝、屋形、小松工区の三工区になっております。小松工区の全体事業費が13億2,500万円で進捗率は、2億9,300万円で22%と行うことをごさいます。また努力してまいりたいと思えます。

●再度、県へ要望をだす考えは。

Q 都市建設部長 県整備センターの担当者

と年明けの1月か2月に建設推進期成同盟会のほうで要望活動に伺う予定になっておりますので、粘り強く予算をつけていただきますように要望してまいりたいと思っております。

個人質問



大川 義男 議員

●地上デジタル放送に係る騒音対策用共同アンテナの対応策について

Q 航空機による電波障害対策のための共同受信アンテナの取り扱いについて、空港会社との話し合いは、どうなっていますか。

A 市長 空港会社の考え方は、地デジ放送は航空機の影響を受けず、受信障害を発生しない基本的な考え方を持っています。下総光中継局

からの試験送信電波が受信でき次第、調査を実施する段階です。

●同様の問題で東京電力が引き続き共同受信アンテナを管理すると聞いていますが、東京電力との話し合いは行われていますか。

A 総務部長 東京電力との話し合いはありませんが、無償譲渡するか、撤去の方向と伺っています。譲渡は、共聴設備の一式となり、これを地上デジタル受信可能状態に改修した場合、一般家庭で改修する経費、それに相当する額等の負担をお願いしたいと伺っています。

●この問題は山武市だけの問題ではないので、住民の皆さんが納得できるように負担の少ない解決策を空港圏の関係市町と協力し、早急に方向性を示していただきたい。

A 市長 できるだけ早く方向が示せるように努力してまいります。

●建物の影響による共同受信施設や山間地などの受信状況のよくない地域があると聞いています。すべての地域で良